

データサイエンスプログラムの 教育における3つのポリシー

1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 持続可能な豊かな地域社会の創生を支え，DX の推進における課題を発見・解決するために，データサイエンスの高度な専門知識・技術を修得している。
- ・ 科学的で根拠に基づく課題発見・解決を行うために，数学，統計学，情報学の高度な知識や機械学習・AI の最新技術を駆使し，データから価値のある情報を抽出することができる。（データサイエンス力）
- ・ データサイエンスの知識・技術と学際的な思考に基づき，分析対象の本質を数理的に理解することができる。（データサイエンス力）
- ・ データサイエンスと情報工学および経営学の高度な知識と技術を，課題解決や意思決定，価値創出に活用することによって社会に実装することができる。（社会実装力）

2. カリキュラム・ポリシー(学修・教育目標を達成するための教育体系)

【教育課程編成の方針】

ディプロマポリシーとして掲げた修了認定の基準を実現するため、高度な学際的思考力・実践力や境界領域・異分野の専門知識・技術を養成するとともに、研究テーマに関連した学位プログラム間の連携・融合を図るカリキュラム編成・研究指導を実施する。

【教育内容の学修方法】

次に掲げる科目を配置し、これらを事例研究、グループワーク、フィールドワーク、ワークショップなどの方法により主体的な学修を行う。

- ・ 確率統計や多変量解析をはじめデータサイエンスを支える数理の高度な専門知識を習得するための科目を配置
- ・ データ分析手法や、ソフトウェアなどデータサイエンスのインターフェースに関わる高度な専門知識を習得するための科目を配置
- ・ 機械学習・深層学習など、急速に進展するAIに関連した高度な専門知識を習得するための科目を配置

【学修成果の評価方法】

学修成果の評価は、授業科目ごとに定める達成目標に応じ、科目の態様に従って、試験、レポート、作品、発表などにより評価する。修士論文に係る評価は、大学院学位論文等評価基準（博士前期課程）に基づき評価する。

3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【求める学生像】

- ・ データサイエンスを学修するために必要な数学，統計学に関する基礎学力を有する人
- ・ データサイエンスを基盤とした最新の手法を駆使して，多様な課題解決の社会実装に挑戦する意欲を持つ人
- ・ データサイエンスを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人